

会 議 録

1 会議名

第11回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）（仮称）上越市体操アリーナ整備事業について

・協議事項（公開）

（1）自主的審議事項「大潟区の魅力発見・発信」について

3 開催日時

平成30年3月20日（火）午後6時30分から午後8時50分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：佐藤忠治（会長）、君波豊（副会長）、石田浩二、梅木英亮、金澤幸彦、後藤紀一、佐藤博之、新保正雄、中嶋浩、細井義久、柳澤周治

（16名中11名出席）

・事務局：体育課：田中課長、石澤参事、石田係長

鍵田大潟区総合事務所長、熊木次長（総務・地域振興グループ長兼務）、

道場市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、

朝日総務・地域振興グループ班長、佐藤総務・地域振興グループ主任

8 発言の内容（要旨）

【熊木次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告。

【君波豊副会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：中嶋浩委員に依頼

【熊木次長】

では、報告事項に入る。会長は体調不良のため議長は副会長が務める。

【君波豊副会長】

報告事項（１）（仮称）上越市体操アリーナ整備事業について、体育課田中課長が説明する。

【田中体育課長】

（仮称）上越市体操アリーナ整備事業について、配布資料により説明。

【石澤体育課参事】

補足で今現在の状況について報告する。本体工事は6月議会で議決後着工したいと考えている。現時点において、もともとあった鶴の浜温泉の4号井戸の撤去工事を行っている。全て安全な形で昨日完了した。造成工事のために樹木の伐採を始めたところである。今後、本格的な造成工事を行い本体工事着手前に造成工事を完了したいと考えている。

【君波豊副会長】

質問や意見は無いか。

【後藤紀一委員】

資料の最初のページの表で、補償、補填及び賠償金で電波障害補償料とあるが、弥彦方面からの電波を受信する地域なので、電波障害は出にくいと言われているがどうか。

【田中体育課長】

電波障害が発生するのではないかと認識している。どれくらいの影響が出るのか、はっきりしないがまったく無いとは言い切れない。現実的には建物が立ち上がっていかない事にははっきりとはわからない。弥彦方面の電波が取れなくなるのは、ゼロではないし、高田局から取れるのかもはっきりはしない。

【後藤紀一委員】

予算額は確定ではないと理解して良いか。

【田中体育課長】

総事業費ということで、昨年の6月の段階で23億から26億になった説明をしたが、そこは変更がない。

【柳澤周治委員】

起債や合併特例債についてはどうか

【田中体育課長】

対象の95%が合併特例債、5%は新潟県地域づくり資金である。

【君波豊副会長】

自宅付近の工場による電波障害が発生し、テレビのアンテナを直した。外壁に電波が反射したが実際に被害はなかった。高い所に高い建物が建つので、地域住民が安心できるように回覧などで周知してほしい。

機械室の外からの出入り口を非常口として利用できるか。建物の東側が墓地となっており間に道がある。非常時にはその道に出入りできるように建物側の境界に柵やチェーン等の取付けを配慮いただけるとよい。

有害物質についてであるが、化学物質過敏症について看護大学で話を聞いたが、選手は皮膚を出しているので建物の内装についても気に留めていただきたい。

【田中体育課長】

建物と墓地との間に出入りできるよう考えている。テトラクロロエチレンは除却済みである。

【石澤体育課参事】

非常口は南・北に階段があり、観客席、アリーナの人が階段室を経てすぐ外に出られるようになっている。シックハウスの原因物質は建築基準法の中で使用できない事になっている。24時間換気をもうけ、化学物質についても検査により基準値以下を確認してから引き渡しとなるので問題はない。

【後藤紀一委員】

器械体操に使用する炭酸マグネシウムは、掃除に手間がかかると聞くが、粉塵対策はどうか。

【石澤体育課参事】

炭酸マグネシウムは練習や大会でかなり使う。通常の空調機械では、風の影響が出て

しまう。除湿型放射冷暖房装置の導入で粉が舞い上がらないよう配慮している。換気も粉が舞わないよう、空気を建物の上から入れ下から出すことで配慮している。

【中嶋浩委員】

景観アドバイザーの意見を聞いたと説明があったが、建物が周辺に溶け込むようにバランスを取り、色合いも上越市が基調としているものとずれないように調整をしていただきたい。

【田中体育課長】

十分留意して対応する。

【君波豊副会長】

他に意見は無いか。

(発言なし)

【君波豊副会長】

それでは、そのほかに意見や質問がないようなので、以上で報告事項（１）を終了する。

(体育課の職員退席)

【君波豊副会長】

協議事項に入る。事務局から内容の説明をお願いします。

【朝日班長】

２月２２日の地域協議会で行われた、大潟区の魅力発見・発信に係るグループ協議の記録をお配りした。資料に基づきグループごとに説明をいただき、意見の交換や協議をお願いしたい。これまで協議を進めてきたが、具体的に活動を開始しないとスケジュール的に間に合わないため、本日の主題にしていただきたい。

【柳澤周治委員】

グループ１資料No.1について説明

【中嶋浩委員】

グループ２資料No.1について説明

【石田浩二委員】

グループ３資料No.1について説明

【君波豊副会長】

各グループより説明があったが、全体で議論していただきたい。実施体制をどのように構築していくかを決めていかなければならない。まちづくり大潟にいきなり話をもっていても無理がある。地域協議会委員の入ったプロジェクトチームを立ち上げる話をもっていけばよいのではないか。映画を作る会にも協力を依頼しているが、すべてをお願いするわけにはいかない。

【石田浩二委員】

どのグループも来年度の地域活動支援事業を使い、どこかの団体をお願いしたいと考えているが、ストーリーの内容によっては正式に依頼する前に映像を残しておく必要がある。無償で誰がやるのかを検討しておく必要があるのではないか。

【君波豊副会長】

準備資金が必要になる。1、2グループはどう考えるか。

【後藤紀一委員】

プロジェクト案を提案する形を作らなければならないが、受けてくれる団体はどのようなところがあるのか事前に調べておく必要があると思う。経験、実績を含めそのような団体があるのか。依頼するにしても事前にノウハウの提供を受けないとこちらも動けないのではないか。地域活動支援事業を限定しているが、地域を元気にするための提案事業も視野に入っていたと思う。写真を寄せ集めてできるものなのか。

【君波豊副会長】

写真をカードに収め、つなぎ合わせる技術があるのか。あれば持っているカメラで準備することができる。柿崎区では地域活動支援事業でドローンを飛ばし、柿崎の魅力ある場所を撮影した。イベントリップという会社に10万円弱で柿崎区全体の撮影を依頼した。そのような情報を入手することも重要である。皆さんからもこんな会社があるというのを知っていれば紹介してほしい。

【中嶋浩委員】

大潟のCDを2本見たが、その依頼された会社に聞けばわかる。先立つものは予算であるがサービスでやってくれるかわからない。学校で動いている業者もある。専門家に入ってもらい意見をもらうのは早いほうが具体化する。

【君波豊副会長】

柳澤委員は業者をご存じないか。

【柳澤周治委員】

専門でないがやっている業者は知っている。

30年度は映像準備をする期間。31年度は編成の期間になると思う。肝心なのは実行団体、委託先をどうするかであり、急ぐ必要がある。我々だけで進めるのはこれが限界に近い。中身の議論はプロの視点でアドバイスをいただいて進め、各種団体の意見もその都度いただく形でないと最初から関係者全部で進めるのは無理がある。業者については事務局に調べてもらう。予算的に30年度に間に合うのか。どこかの団体に手を挙げてもらい進めていく体制を作らなければ間に合わない。ひとつの方向性を早く決めたほうがよい。この議論を今後何回も続ける必要はないと思う。

【君波豊副会長】

柳澤委員が言われるように、核は出来てきているが実行にどう結び付けるか。ほかに方法はないか。

【石田浩二委員】

まちづくり大潟が実施主体を引き受け、実践は業者の場合、地域活動支援事業として許可していいものか。

【君波豊副会長】

過去の事例から鵜の浜温泉のイルミネーション事業などは100パーセント業者に丸投げのような印象を受ける。プロジェクトチームを立ち上げやっていたら可能だと思われる。

【朝日班長】

任せた団体が業者にDVD作成などを依頼する場合、企画からすべて委託事業として依頼するのは地域活動支援事業の趣旨にはそぐわない。地域協議会で議論を重ねており、その企画を実施主体が業者と一緒に企画制作していくのは可能である。業者が作成にかかったから我々に関係ないということでは本来の趣旨と異なる。実施主体は地域活動支援事業を申請する団体であり、業者選定はその次の話である。話が進まないようであれば、検討会において議論を詰めて地域協議会にフィードバックして決定し、30年度は厳しいので31年度にどういう団体が申請し、どういう体制で臨んで、どの

段階から業者が入るのかを決める方法が考えられる。

【君波豊副会長】

まちづくり大潟、映画を作る会から協力してもらえと思う。その他の団体があるが、こういった団体もあるというのをあげてもらい協働チームを作ってもらいたい。地域協議会、町内会長協議会、まちづくり大潟の連絡会議の中でプロジェクトを立ち上げることも検討の余地がある。会則をもって既に活動している団体に協力してもらえれば、今年度の準備資金として予算の裏付けができる。

【後藤紀一委員】

今年度は企画、来年度は実施で地域活動支援事業が可能か。

【君波豊副会長】

映像機器を購入し撮影に着手すれば事業となっていくと思う。30年度にここまでやったという報告ができるやり方であれば可能と思う。そのように着手しないと遅くなる。

【佐藤忠治会長】

「まちの映像化プロジェクトチーム大潟」という団体を作り、3グループのリーダー、町内会長連絡協議会、まちづくり大潟から関心のある人、一般公募の10数人の組織を作ったらどうか。規約を作成し、業者交渉、立案で地域活動支援事業への提案が可能になると思う。2、3年計画にする。難しいなら、地域を元気にするために必要な提案事業に大潟区連絡会議を主体・協賛のプロジェクトチームとして提案する。地域協議会のメンバーが入らないと、まちづくり大潟を実施主体にして進めるは難しい。

【後藤紀一委員】

新たな団体を作るのは無理があると思う。既存団体にプロジェクトチームを作って、そこに私たちが入っていく形がよい。

【新保正雄委員】

既存団体に入っていく形でないと間に合わない。観光協会、まちづくり大潟に地域協議会、町内会長連絡協議会のメンバーが入らないと今年の予算確保ができない。

【後藤紀一委員】

まちづくり大潟に我々もメンバーに入るので一緒にやってもらえないかという形で窓口になってもらう可能性はないか。

【柳澤周治委員】

実現可能な体制を作っていけば可能である。31年度事業でスタートし、32年度の3月に完成というスケジュールを立てれば、年間を通した映像も撮れる。30年度に中身を整理し、必要に応じて関係団体の意見を聞くなど体制づくりの年とし、準備の年とすれば実施主体とも詰めていける。どうしても31年度に間に合わなければ、かなりの部分をまとめて32年度にまわす方向だってあっても良い。

【君波豊副会長】

1年かけて組織を立ち上げて31年度に実行にしたとして、これだけの事業をできるか。既存団体に実施主体になってもらい、今年度の地域活動支援事業を申請してもらえれば2年あるので形になるのではないか。地域協議会は資金を持っていないが動けばお金がかかる。

【佐藤忠治会長】

事務局から意見のあったように検討会で整理し、地域協議会で決定するのがよいのではないか。

【新保正雄委員】

それではまた延びる。ここで決定したほうがよい。まちづくり大渦にお願いするならその中にこちらのメンバーも加わって決めないと進まない。30年度が計画作成、実施年度は31、32年度とし、予算申請も決めてしまわないと駄目だ。

【君波豊副会長】

2年間やってきたので30年度から動き出せばいいと思うが、提案のあった検討会をやるか。

【後藤紀一委員】

今年度の地域活動支援事業にどのくらいの予算を申請していいかわからない中で無理だと思う。1か月しかない。検討会で検討するのもいいが、受けてくれる団体が返事をしてくれるかもわからない。今年は台本づくりなど予算措置の伴わないところで動けばいいと思うが、我々にできるのかも疑問である。

【君波豊副会長】

台本はかなりまとまってきたがどうか。

【金沢幸彦委員】

ここまで来ると30年度申請は無理である。今年は業者の選定、31年度に向けたスケジュールやシナリオ作成を進め、柳澤委員の言うように任期をまたいでも止む無しという考えでいかないと無理があり、作るものが雑になっても意味がない。今年は予算がどのくらいかかるかを含め検討しないと高額になった場合、他の地域活動支援事業を圧迫する。

【中嶋浩委員】

これまで魅力の発掘に力を入れてきた。DVDをより良いものにするのに連携がなされていない、団体とも話が通じていないことが見えてきた。1年延びてもいいものを作ると捉えればよい。今までのDVDよりいいものができるか不安である。魅力があり全国に発信できるものを作るには専門家の意見や、関係団体にどうですかと声をかけて意見を聞くことが大事。中には待っていたとスタート予算を出してくれることもあるかもしれない。ここだけでは発展しないので関係団体に話をするのが大事である。

【君波豊副会長】

この話も3年がたっていることを加味しながら議論していただきたい。急ぐわけではないが、この期で決めた自主的審議事項なのでこのメンバーで完結するということにしていけばいいと思う。意見も出尽したので、グループ代表者と検討会を開きたいと思うがよろしいか。それでこの件はまとめさせてもらいたい。

(一同了承)

【君波豊副会長】

改めてグループ代表、副代表と論議させてもらおう。その際、映画を作る会の太田さんより来てもらい意見をもらいたいと思うがよろしいか。

(一同了承)

【柳澤周治委員】

本件に関連して、まちづくり大潟からの情報提供として、まちづくり大潟の4月1日号の広報を出す、「おおがた紹介マップ」の作成が進み、素案ができた。完成後には各世帯に配布をしようという案がまとまった。新年度で作り上げるよう進めている。

【後藤紀一委員】

地域活動支援事業に申請するということか。

【柳澤周治委員】

そうである。

自主的審議事項について、実施団体に協力をお願いするのであれば、もう少し情報交換したほうがよい。連絡会議で構想は話したが具体的な話はしていない。すべてできてからお願いしても難しいと思う。

【君波豊副会長】

検討会で団体との意見交換についても検討いただきたい。映画を作る会とは検討会で意見交換できる。そこを含めお願いしたい。

【君波豊副会長】

次に、5. その他に移る。

まず私から、柿崎区のまちづくりフォーラムに行ったので紹介したい。2月25日(日)の1時から4時まで柿崎コミュニティプラザにおいて、成果報告会に似た内容で実施された。柿崎子ども連合会による年末のお楽しみ会並びにジュニアリーダー、シニアリーダー養成など756,000円の事業。柿崎写真コンテスト実行委員会による柿崎写真コンテストという981,000円の事業。タイムスにも紹介されていた。特徴的なのは、スペイン出身のエミリオさんという人が入っていたことである。地域支援員として入っている方だと思う。柿崎恵方巻実行委員会からは柿崎の地域食材を用いた商品開発と区食育推進という484,700円の事業が報告された。14事業についてはパネルで紹介された。

その後、新潟お笑い集団NAMARAの江口歩さんが講演した。江口氏は多くの肩書を持っているが、お笑い集団の代表であると同時に新潟県内の各地域のまちづくりに対するアドバイザー的な仕事をしている。三条、燕などの町内で講演をしながらまちづくりの相談に乗っている。新潟駅南の天神尾の自治会長も務めている。まちづくりは非常識なことをしないと時代遅れとのこと。ドローン撮影は当たり前のことであるとのことだった。「恵方巻とドローンを組み合わせるなどやり方があるので、必要であれば柿崎に入ってまちづくりに協力したい。高齢者全員にスマホを持たせた情報提供などもまちづくりの手段である。若い人を巻き込んだ時には駄目と言わず、『いいね』と持ち上げ一緒に活動するのがよい。」と話され、夢やアイデアに区をあげて取り組むべきとのことであった。講演会もよいと感じた。

次に吉川区の活動フォーラムについて、佐藤会長から報告をお願いする。

【佐藤忠治会長】

3月18日（日）2時から4時に吉川コミュニティプラザで公民館、振興会、地域協議会の3者主催により開催された。基調報告、地域協議会の3部会の報告、その後に公民館事業のよしかわ未来塾座長の報告、ゲートボール協会、女性コーラス、最後にゴルフ同好会の報告があった。基調講演は新潟市のNPOまちづくり学校の方が行った。地域活動支援事業の成果報告会ではなく、3者共催のまちづくりフォーラムで、各団体の活動の中からまちづくりを行っている実情の報告であった。

【君波豊副会長】

地域協議会だより編集結果の中に3月4日のフォーラムの関係もまとめて後藤委員から記載してもらったが、感想も含めてお願いしたい。

【後藤紀一委員】

一年間の編集のご協力に感謝する。フォーラムの感想は出席された方もいるし、資料もある。事例発表として地域協議会と地域協議会に関連する団体の取組報告があった。

大湊区ではまちづくり大湊や社会福祉協議会が受け皿となり、介護予防教室が運営されているが、諏訪、三郷地区では高齢者支援のためのまちづくり組織から作らなければならず大変だと感じた。牧のよもぎ会の高齢者向け食事宅配は利用者が減っているが地道な活動をやっている。中郷の振興会は小中学生を含め敬老会や行事を企画し、地域活性化に取り組んでいる。

【君波豊副会長】

皆さんから感想はないか。その他でも柿崎、吉川のフォーラムへの意見、質問もないか。なければ総合事務所からの連絡をお願いしたい。

【熊木次長】

第4期委員の改選時に会長、副会長の任期を2年とし再任は妨げないとしたが、4月28日で任期満了となる。4月の協議会において後半の会長、副会長の選任をしたい。

【君波豊副会長】

会長、副会長の選任の件について意見質問はあるか。検討いただき、次回体制を決めていただくがよろしいか。十分考えていただきたいのでよろしくお願いしたい。

他に、何か質問はあるか。

(発言なし)

【君波豊副会長】

それでは、次回の予定について次長から連絡する。

【熊木次長】

平成30年度第1回協議会は、4月24日(火)午後6時30分からとしたい。

(一同了承)

【君波豊副会長】

他に連絡事項はあるか。

(発言なし)

【君波豊副会長】

他になければ終わりにする。

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-534-2111 (内線 201、216)

E-mail : ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。